

# 介護教育評価 シラバス (2023年度)

## 1. 科目名 教育評価

**2. 「教育評価」の学びへのご招待** 学生は単位を取得するために勉強しますので、成績の付け方で学生さんの勉強方法が変わってきます。したがって、学生さんにこのように勉強してもらいたいと思う場合、どのような成績の付け方をすればよいかを知ることが大変重要で、すべての科目に必要なことです。また、単位の意味を知ることが学生さんと接する場合に重要なことです。更に近年学校評価が行われることが多くなっていますので、学校評価とは何かを知ることが重要なことです。

**3. 科目担当者** 安岡高志（東海大学名誉教授、帝京大学高等教育開発センター長・教授）

**4. 授業時間** 2023年8月6日(日)：教育評価①②午前・午後各90分授業2回、8月20日(日)：教育評価③④午前・午後各90分授業2回、8月27日(日)：教育評価⑤午前90分授業2回

**5. 授業実施方法** Zoomでの開講。

**6. 皆さんと私のコミュニケーション** ご質問・その他の連絡などは次のアドレスに連絡をください。

○件名は「お名前」と「介教2023」としてください。授業中の質問はいつでも結構です。

[yasuoka@main.teikyo-u.ac.jp](mailto:yasuoka@main.teikyo-u.ac.jp)

**7. メイン・テーマ** 介護福祉士養成校教員のための「成績評価から学校評価まで」

サブテーマ 教員生活を面白くする

**8. キーワード** 教育理念、教育目標、目標の達成手段、評価指標、評価基準、授業計画、PDCAサイクル

**9. 授業の目的** 単位制度の意味を十分に理解し、授業計画が立てられる。学生に身に付けてもらいたいことと成績評価の仕方の関係を理解する。自己点検・評価を行い、学校評価の資料を作成できる。

## 10. 達成課題

○単位制度に適した成績評価の仕方が計画できる。

○PDCAサイクルを理解し、職場の自己点検・評価ができる。

## 11. 授業の方法・

①基本的には講義形式で行います。それは全体像を理解していないと部分のみ学習しても何のために学んでいるかが理解できないからです。②そのほかに個人ワークやワークショップも取り入れています。これは講義を聞いて理解したつもりや、できるようになった気になるのと実際にしてみるは大きな違いがあるからです。③個人ワークやワークショップの結果を発表してもらいます。これは伝達手段であるプレゼンテーションの練習です。

**12. テキスト・参考文献・教材** テキスト・参考資料・教材など特にありません。必要な教材は当日あるいは前もって届けます。

**13. 他の授業との関連** 適した成績評価の方法を知ることが全ての科目に必要なことですので、少なくとも科目の成績評価の仕方については理解しておく必要があります。

**14. 成績評価の方法・採点基準** 全出席と最終課題の提出を持って修了とみなします。毎回課題が出ますので、修了のための要件ではありませんが実力を養うためですので提出を期待しております。

### **15. 毎回の授業予定と主題 & 提出課題**

教育評価①授業の3つの目標。第一目標：知的発達の理解と推進、第二目標：社会で活用できる知識・スキルの修得、第三目標 科目の理解、必要なスキルの習得

教育評価②WSオージェンスと授業評価

教育評価③単位制度と成績評価

教育評価④PDCAサイクルと自己点検・評価

教育評価⑤ティーチングポートフォリオと学校評価

**16. ホームワーク** 「最終課題：職場を自己点検・評価してください。」

### **17. 本講におけるオンライン学習での学び方**

#### **1. メールによる情報交換・・・**

此の授業では、受講生—講師間での、授業用資料の送付やレポート類の提出を、メールに添付文書して送る方法で行います。

そのため、第1回の授業終了後、お手数ですが、受講生皆さんが、この講座の受講で使っているアドレスを、必ず（教員の指定アドレス）に送ってください。その際、必ず「件名」に「お名前」と「介教2023」とご記入ください。

（このアドレスは、受講期間中、講師のみが使用するものとします。受講生同士の意見交換等は是非行っていただきたいのですが、その場合の連絡先の交換は、受講生同志で行ってください。Zoomのチャットなどをご活用ください。）

#### **2. Zoomでの参加について**

①この講座は、Zoomで参加いただいておりますが、ウェビナー方式ではなく、ミーティング方式での参加になっています。これは、「インタラクション(意見交換など)のない授業は、「授業」ではない。」という、最近のアクティブラーニングの考え方を反映しているためです。（この詳しい内容は、授業中に触れます。）というわけですので、この授業は単に聞くだけでなく「参加」が前提です。又、受講生同志での意見交換の機会を多く設けますので、ぜひ、ともに学ぶ仲間を増やしてください。

②したがって、授業中は基本的に、映像をオンにしてご参加ください。（映像が出ない場合は休憩中??）

③音声は騒音が入ってしまうと困るので、原則ミュートにしておいていただきたいのですが、状況に応じてすぐにミュート解除できる様にしておいて下さい。

④講義中に質問や意見等がある場合は、チャット機能を使って質問(意見)を送るか、発言したいという意思表示を行ってください。（ご発言いただける様、こちらから指名します。）手を挙げて連絡して下さるのも可ですが、こちらでは一人一人の画像が小さいので、見落とす場合があります。

⑤授業中に資料の共有として資料(原則として事前配布)を示す場面が、多々あります。出来るだけ、おおきな画像が見られるか、事前のプリントなどしてしまうかして、使えるようにしてご参加ください。

⑥授業を進めながら、この授業でのZoomへの参加の仕方や、守るべき内容等について、皆さんと共に、一定のルールを創っていきたいと思いますので、どんどんご提案下さい。

⑦この授業のZoom URL、IDとパスコードなどは以下の通りです。

ミーティングID :

パスワード :

以 上